

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費

項：商工費

目：鉱工業振興費

事業名 航空宇宙関連企業新ビジネス展開支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3762)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,751 千円 (前年度予算額：21,800 千円)

<財源内訳>

※R3.3月補正額

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,800	21,800	0	0	0	0	0	0	0
要求額	21,751	0	0	0	0	0	0	0	21,751
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

今般の新型コロナウイルス感染症拡大による航空旅客需要の激減の影響は、航空機機体部品の製造に関わる県内の関連企業の経営を直撃しており、売上の激減など、厳しい経営環境に直面している。

この難局を乗り越えるためには、航空宇宙関連企業が、当面の売り上げ確保、また多角化経営による安定経営を図り、コロナ回復期までの関連企業の存続、ひいては地域としての航空宇宙産業の競争力を維持させるための支援策が必須である。

(2) 事業内容

県内の航空宇宙関連企業がこれまでに同産業で培った高度な技術を活かし新分野への展開を行い、当面の売り上げ確保、経営の安定化を図ることができるよう、新たな事業計画策定のための専門家の起用や、販路開拓のための試作品作成、展示会への出展等にかかる経費を補助する。

<対 象 者> 県内航空宇宙産業分野にかかる事業を営む企業

<対象経費> 外部アドバイザー受入謝金、コンサルタント料等

試作品作成に要する器具や材料の購入費用等

展示会出展に要する出展小間料金等

(3) 県負担・補助率の考え方

・県から(公財)岐阜県産業経済振興センターへ補助金を交付。(補助率10/10)

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	21,751	<産業経済振興センター補助金> ・助成金（企業向け）：17,000千円 ・事務費：4,751千円
合計	21,751	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2)次世代を見据えた産業の振興
- ・岐阜県成長・雇用戦略
 - [4] 航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト

（2）事業主体及びその妥当性

専門家（航空宇宙産業支援コーディネータ等）を配置し、様々な県内中小企業支援事業に関するノウハウ・実績のある（公財）岐阜県産業経済振興センターが主体となって実施することは妥当

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	航空宇宙関連企業新ビジネス展開支援事業費補助金
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県産業経済振興センター （理由） 航空宇宙産業支援コーディネータを配置。中小企業支援事業に関するノウハウ・実績・支援体制が整備されている
補助事業の概要	（目的） 新型コロナウイルス感染症の影響で苦境にある県内航空宇宙関連企業の売上げ確保、経営安定化をはかり、同産業の競争力を維持する。 （内容） 自社技術を活かして新分野への展開を目指す企業に対し、コンサルティング料や試作品の作成、展示会の出展に必要な経費を助成する。
補助率・補助単価等	定額 （内容） 事業費相当額 （理由） 企業向け助成金、及び事務費
補助効果	コロナウイルス感染症拡大により、事業収益への甚大な影響がある県内航空宇宙関連企業の経営の安定化を図る。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由） コロナウイルス感染症の影響からの回復状況を踏まえて判断する。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス感染症による苦境を乗り越え、事業継続に向けて新分野展開を目指す県内航空宇宙関連企業の後押しをすることで、同産業関連企業の存続、ひいては地域経済の維持と持続的発展を支援する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① 支援企業数	—	16	25	13	13	123%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	—	—	18,478

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和3年度	令和3年度は、県内に事業所を有する関連中小企業13社（交付決定額計16,862千円）に対して支援した。 指標① 目標：23 実績：16 達成率：70 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>コロナウイルス感染症拡大の影響により、関連企業における売り上げが大きく減少している。長期的には今後コロナ回復後の成長が見込まれ、県の次代の基幹産業として期待される航空宇宙産業への、行政支援は妥当。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	<p>航空宇宙産業関連企業が新分野への参入に向け、売り上げが低迷する企業の負担軽減につながっている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>航空宇宙分野に関する専門家を雇用し、また中小企業への支援実績、ノウハウのある(公財)岐阜県産業経済振興センターにより本事業を実施することで、効率的な実施ができている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 現行の航空宇宙産業界の情勢や、企業ニーズに応じた支援メニューの検討が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後のコロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、本事業継続を検討・判断する必要がある。</p>
--